

## 伝統の神楽披露

◎富母里神楽奉納

11月8日、父野川の黄幡神社で富母里神楽の奉納があり、保存会と地域住民ら約40人が参加しました。

富母里神楽は、昭和50年頃まで富母里地区のお祝い事等で上演を行っていました。

富母里神楽は、昭和50年頃まで富母里地区のお祝い事等で上演を行っていました。富母里神楽は、昭和50年頃まで富母里地区のお祝い事等で上演を行っていました。富母里神楽は、昭和50年頃まで富母里地区のお祝い事等で上演を行っていました。

▼富母里神楽 恵比寿の舞



▼伊予神楽 うずめの舞



▼富母里神楽 じゅうらせん



どに扮し、太鼓の音に合わせて伝統の神楽を舞いました。また、伊予神楽かんなぎ会の会員によって伊予神楽も奉納され、妖艶な舞が観客を魅了していました。

▼勢いよく駆け抜ける牛鬼



▼ユズしぼりゲームに挑戦



## 旬の野菜や特産品がずらり

◎秋の大収穫まつり・ゆずまつり

日吉地区恒例の秋の大収穫まつり・ゆずまつりが11月3日、日吉産地で開催されました。会場では、地元農家が作った新鮮な野菜や特産品、郷土料理などが販売されたほか、特産品のユズを使った数当てゲーム、ユズしぼりゲーム、もちまきなど多彩な催しが行われました。

当日は、松山市から約180人がバスで訪れるなど町内外から多くの人が来場。新鮮な野菜など目当ての商品を買い求めていました。また、今年は日吉地区芸能発表会が同会場で行われ、特設ステージ上で各種文化団体による素晴らしい歌や踊りなどが披露されました。

## 勇壮な牛鬼が町内を練り歩く

◎愛治地区秋祭り

10月26日の三島地区を皮切りに町内各地で秋祭りが開催され、みこし、牛鬼、四つ太鼓、子ども相撲甚句、鹿踊りなどで賑わいました。

11月3日に行われた愛治地区の秋祭りでは、愛治活性化集団来夢のメンバーが早朝から牛鬼を担ぎ、爆竹を鳴らしながら地区内を練り歩くと、各家に「いき

まつせー」と声を掛け、玄関に牛鬼の頭を突き出して厄払いをしました。

また、天満神社の御旅所では、県指定無形文化財の五ツ鹿踊りと国指定重要無形民俗文化財の伊予神楽が奉納され、見物客は伝統ある踊りや舞を堪能していました。